

Edgewise Society in Kyushu(ESK)★2025 年第2回セミナー

ESK は 45 年の歴史ある、九州を中心とした矯正歯科専門開業医によるスタディ・グループです。年間 3 回開催致しますセミナーは、さまざまな歯科関連分野でご活躍中の講師によるご講演を間近でじっくり拝聴できる貴重な機会となっております。一般開業医や矯正専門開業医、そして大学関係者にも広く門戸を開いていますので、会員外の先生方にもオブザーバーとしてご参加頂けます。

2025 年第 2 回セミナーは、午前は会員によるアンコール症例講演、午後は熊本駅前矯正歯科クリニック院長 上村 裕希先生をお迎えしての講演となっております。午前だけ、午後だけの参加も可能です。お誘いあわせの上、お気軽にご参加ください。



上村 裕希 先生 (Dr. Hiroki Kamimura) D.D.S. Ph.D

熊本駅前矯正歯科クリニック 院長

2003 年 松本歯科大学卒業

2003 年 鹿児島大学医歯学総合研究科 顎顔面育成学専攻

2008 年 鹿児島大学医歯学総合研究科 顎顔面育成学専攻 修了 博士 (歯学)

2014 年 熊本駅前矯正歯科クリニック 開設

日本矯正歯科学会 JOS 認定医・臨床指導医

日本舌側矯正歯科学会 JLOA 認定医

世界舌側矯正歯科学会 WSLO Active Member

ヨーロッパ舌側矯正歯科学会 ESLO Titular Member

『私が考えるラビアル／リンガル／アライナー矯正の特徴 他いろいろ小話』

11 年間在籍いたしました鹿児島大学歯科矯正学分野を退職後、矯正歯科治療に関することは『全て行う』という信念の元、2014 年に熊本市内にて矯正専門クリニックを開院しました。大学医局時代はリンガル矯正をほとんど扱えなかったこともあり、開業当初はリンガル矯正に憧れ、Wiechmann 先生が開発された Win システムを取り入れ、ドイツのバド・エッセンまでスタッフ全員で押しかけたりもしました。昔はリンガル矯正も治らないと言われた時代もあったようですが、開業当初の 2010 年代ではラビアル矯正と同等か、ケースによってはリンガル矯正の方が有利な場合も出てきました。一方当時、アライナー治療ではまだまだ難しいといわれるケースも多い状況でした。しかし近年、アライナー治療も随分と発展し仕上がり具合はワイヤー矯正に劣るものの、かなりの範囲で治療が可能になってきております。今回、私の考える範囲ではありますが、ラビアルとリンガル矯正、およびアライナー治療におけるその特徴と違い、利点・欠点、治療を成功に導くポイント等について、時間の許す限りお話ししたいと思います。また、これらの装置を用いて治療を始めた結果、残念ながら最後まで同じ装置で治療できなくなってしまったケースについて、自戒の意を込めてご紹介したいと思います。

今回、歴史ある ESK にて講演の機会をいただき大変光栄に存じます。どうぞ宜しくお願いいたします。

日時：2025 年 7 月 17 日 (木) 10:00 - 17:00

会場：福岡県歯科医師会館 (福岡市中央区大名 1-12-43) 5 階 視聴覚室

10:00-12:00 会員アンコール症例講演 清水 義之先生「矯正臨床 50 年を振り返って」

12:10-13:00 会員ランチ ミーティング ★会員外の先生方は、会場周辺にて各自ご昼食をおとりください。

13:00-17:00 招待講演 上村 裕希 先生 (途中休憩有り)

主催：Edgewise Society in Kyushu (通称 ESK / 会長 久保田 隆朗) <http://www.esk21.com>

お申込み・お問合せはメール takahashi@takeo-ortho.com (高橋 知江子) 又は Fax 0982-21-5175 (たけお矯正歯科) まで。

フリガナ	フリガナ
お名前	ご所属医療機関
フリガナ	コメント等：
〒 ご住所	
Tel	Fax
	E-mail

会員外の先生は当日、会場にて参加費¥5,000 のお支払いをお願い致します。